

資格を取るための講習会 運転適性検査指導資格者認定講習会を開催

県安管では、運転者教養の一環として「運転適性検査」警察庁方式K-2の実施をすすめています。この運転適性検査は茨城県警察本部長が認める資格を有する指導者が行うことになっているところから、資格を取るための講習会を、次のとおり開催いたしますのでご参加下さい。

1 日時

令和元年8月1日（木）・2日（金） 両日とも9:00～17:00予定

2 場所

茨城県立健康プラザ中会議室 水戸市笠原町993-2

3 講習予定人員及び資格

- ・30名程度
- ・安全運転管理者又は交通安全を指導する立場の者
- ・一事業所につき2名まで。

4 講習内容

- | | |
|-------------------|----------------|
| (1) 運転適性検査概論 | (2) 検査粗点の算出・実習 |
| (3) 運転適性検査判定値及び実習 | (4) 適性診断票の作成実施 |

5 資格者証の交付

資格認定者には、茨城県警察本部長「指導資格者証」が交付される。

6 受講希望者の申込

受講を希望される方は、7月19日（金）までに、

- ・住所
- ・勤務先名、電話、FAX
- ・役職
- ・安全運転管理者選任年月日（現に、安全運転管理者になっている方のみ）
- ・氏名（ふりがな）
- ・生年月日

を県安管事務局まで郵送又はFAXにてご連絡下さい。

7 その他

- ・講習経費は無料です。
- ・連絡先 県事務局 水戸市泉町3-1-28第2中央ビル5F
電話 029-303-5031 FAX 029-303-5032
E-mail snt@ibaankan.or.jp

警察庁方式運転適性検査K-2について

～自分を知るための鏡～

運転適性検査は、自動車の運転に際し、どんな点に注意したら安全かを知るためのものです。

自分の運転適性を自分で直接評価することはできません。鏡が必要です。

運転適性検査はこのための鏡で、自動車の運転について、自分の姿を映し出し、本当の姿を知るための方法です。

運転適性検査K-2型について

～心理学を応用した運転能力を判定するための検査～

昭和30年頃から開発され、昭和40年代より指定自動車教習所で教習生に活用されてきました。心理学に基づいて精密に設計され、平均で70%以上の確率があるとされています。この確率は“心理学を応用した検査の確率としては最高レベルのものであり、これ以上の確率を求めることは困難である”と評価されています。

したがって、K-2型適性検査の検査結果は信頼性が極めて高いものと言えます。

運転適性検査結果の活用

～己を知ることが安全への第一歩～

人の心をつかむということは、意外に難しいものです。

ましてや、人の心の働きに応じた指導をするのはこれまた難しいことです。それを極めて簡便に、しかも間違いなく実施できるようにしたものがこの検査です。検査結果をもとに、弱点を気づかせ、安全運転が実行しやすくなるための手がかりを助言することが大切です。職場において適切に検査結果を活用していただくことにより、大勢の無事故・無違反ドライバーの育成に役立てることが出来ます。

是非、事業所内で実施してみませんか！

適性検査実施にあたって、講師の派遣を行います。また、事業所内で適性検査を実施するための資格を取ることも出来ます。興味のある事業所様は下記までご連絡下さい。

- 全7問からなる簡易型のペーパーテストで検査時間は約40分。
- 状況判断力・運転行動・性格面を総合的に判定します。
- 検査実施費用は、協会会員のみ無料です。
- 検査結果は後日返送いたします。

お問い合わせ：一般社団法人茨城県安全運転管理協会

TEL 029-303-5031 Mail snt@ibaankan.or.jp